

# 「新たな創造へ導く化学の源」 創業から63年、 合成香料メーカーの老舗

井上香料製造所

井上香料製造所（世田谷区奥沢、井上裕之社長、03・3726・1861）は、香料の合成技術を広く活かしたいという創業者の思いから、昭和25年に設立された。以来60年以上にわたり、合成香料メーカーとして新しい価値を生み出し続けている。長年培ってきた合成技術を駆使し香りを追求した単品香料の数は、なんと2000種類以上に及ぶ。国内ほぼ全ての香料会社に使用されるほど、同社の製品は業界に浸透し絶対の信頼を得ている。

同社の香料は、食品や化粧品など我々の身近なものに数多く使用されている。食品のフレーバーが主であるが、香水、シャンプー、石鹸等のフレグランスを研究開発しており、少量多品種の品揃えを活かして中小の化粧品会社にも製品を供給している。

製造においての一番のこだわりは、もちろん「品質」。ヒトは匂いに



2000種を超える製品の数々

敏感で、製品の香りのバラツキは顧客の信用失墜に直結する。原料や各製造工程の管理を徹底し、品質をつくりこみ、検査ののち、製品として出荷される。

昨年、中国に事業所を開設してマーケットを海外に拡大した。日本では既に成熟産業である香料分野も、中国においてはまだまだ成長の余地は大きいと見ており、中国の市場にしっかりと入りこみ、日本国内と同様の高品質なサービスを提供して地位を確立する狙いである。



香料の製造過程をチェック

「合成香料と聞くと、人工的な添加物、身体に悪いものというイメージが強いと思います。しかし実際には、厳格な国の安全基準をクリアした物質しか使用していません。皆様が普段口に入っている食品の風味など、欠かすことのできないものなのです」と社長は力をこめて語る。私たちが美味しい食事をして豊かな日常生活を送るために、“香り”が一役買っているのだ。